



合同教育研究全道集会 2023

11月3日(金) 講演会・各種交流会
11月4日(土) ハイブリッド分科会
11月11日(土) オンライン分科会
11月12日(日) オンライン分科会

参加費 無料

講演会・各種交流会
11月3日(金)

13:00 - 15:30
北海道大学学術交流会館講堂

講演

「新しい戦前」のなかで
～私たちは、どのように正気を保つか～

講師

金平 茂紀

金平茂紀(かねひらしげのり、1953年12月生まれ)さんは、日本のジャーナリスト、TV記者、キャスター。早稲田大学大学院客員教授、沖縄国際大学非常勤講師などを歴任。北海道旭川市出身。2006年度、ポーン上田国際記者賞、2022年、外国特派員協会(FCCJ)報道の自由賞などを受賞。著書に『世紀末モスクワをゆく』『二十三時の』『沖縄ワジワジ通信』『筑紫哲也NEWS23とその時代』など多数。翻訳書に『じじつはじじつ、ほんとうのことだよ』。最新刊『ロシアより愛をこめて 1991-1994 →2022-2023』(集英社文庫)



各種交流会

16:00 - 17:30
かでの2.7

取り残されてる権利 「先住権」

学ぶ喜びを、まずは大人が取り戻そう。
学ぶ楽しみを、今、分かち合おう。
—道高教組・米家直子さんの授業実践を
プチ体験しませんか?—

映画「教育と愛国」が警笛を 鳴らす小中高教科書の現在地

～憲法と平和の中にいるはずなのに
すり替えられる歴史～

—小中高12年間の学びをしぼる教科書に
危機を感じている教師、学生さんどうぞ!—

君たちはどう語るか?

～教育の明日を私達が変わる
語ることから始めよう～

—青年教職員と教育に関
心のある学生との交流会—



子育てのこと、学校
のこと、みんなで話
し合いませんか。「全
道合研」は教育にか
かわる人々による、
誰でも参加できる集
会です。

参加申込み

分科会(4日、11日、12日)へのご参加には事前申込みが必要です。下記のフォームからご登録ください。

申込締切

分科会(4日).....10月27日
分科会(11日・12日).....11月2日

講演内容・各種交流会・分科会の詳細
や課題、レポートの書き方の注意点につ
きましては順次ホームページにてお知ら
せいたしますのでご覧ください。



<https://forms.gle/VY3cKixB4XG7jEs69>

お問い合わせ
全道合研事務局 電話011-231-0816(道高教組)
Mail: zendogoken@gmail.com
HomePage: <http://goken-hokkaido.jp/wp/>

主催 合同教育研究全道集会実行委員会

ハイブリッド開催
11月4日(土)

4. 数学教育
「数学は本当におもしろいんだな」という気持ちになる授業をするにはどうしたらよいか」について自由な雰囲気でお話し合い、ちょっとした工夫を持ち寄って、見聞しあひのよい数学と数学教育の世界を味わいましょう。
13:00～17:00
高校セン9-3号会議室

7. 書写・書教育
小学生の毛筆指導から高校生の作品展示まで、幅広い参加者ニーズに応える分科会を目指しています。
9:00～12:00
高校セン9-2号会議室

20. 障害児・障害者の教育と福祉
小中学校、特別支援学校、高等学校、青年期の実践・課題を各生活年齢や発達段階のつながりを持ってレポート討論を行います。学校種や学齢期後のレポートを総合的に討論できる分科会を構成し、各分散会で討論された成果や課題について、全体会で共有し、研究課題を深めていきます。
10:00～16:00 かつる2.7

24. 不登校・高校中退・ひきこもり
新型コロナウイルス感染症は子どもの生活環境に大きな影響を与え、生活に困窮する世帯も増加し、今まで以上に、不登校の子どものひきこもりの青年に安心して成長できる居場所が求められます。親の困難な生活実態や「教育機会確保法」の検討を深め、学校現場のとりこみ、親の会、支援団体の努力を語り合います。
9:30～16:00 高校セン9-大会議室

オンライン開催
11月12日(日)

13. 道徳教育
「道徳科」が教科書を使用している全実態になり、「道徳科」の内容と子どもたちの実態が合わない」といった課題や困難も浮き彫りになってきています。また高校では実質的に「道徳科」に位置づけられる「公民」が今年度から始まっています。「特別の教科 道徳」が特定の政治的意図とそれに伴う圧力によって出現したこと、道徳的価値観を育むための実践が子どもたちの発達・人格形成にとって重要なこととの区別が必要で、内容項目の再編によって、「感じる」「知る」、「役に立つ喜びを知る」「役に立つ」などと変化してきています。教育は人格の完成を目指すことが目的であり、道徳性は「道徳科」だけで育てることはできません。子どもたちの道徳性を育むさまざまな教育活動のとりこみ、発表レポートにしっかりと光をあてて、その内容を基にした交流・論議を行います。
9:00～12:00

14. 学校と家庭の生活指導
子どもたちの声を聞き、子どもたちを大切に育てる学級づくり、授業づくりなどの実践を交流します。学校を息苦しくさせるゼロトレランス、学校スタンダードなどの一斉指導、拡がる格差と貧困。いま、必要な生活指導、子ども支援は何かを討論します。
9:00～12:00

15. 教育条件確立の運動
ゆきとどいた教育の実現には、「人・物・予算」の裏付け、すなわち教育条件整備が不可欠です。教育予算や教育費負担、学校統廃合、教職員定数増と労働条件改善など、切実な課題について学び、語り合います。
13:00～16:00

16. 教育課程・学校づくり
子どもを中心とした教育課程を、教職員・子ども・保護者・地域が力をあわせてつくっていくために、お互いの実践や思いを交流しましょう。また、様々な課題をかかえる子ども達の実態や教育課程についても、じっくり語り合います。
9:00～12:00

17. 地域づくりと子育て・教育・文化・スポーツ
現代社会にみる生活・学力格差、貧困・差別等の社会問題を解決することは喫緊の課題です。十分な食事が出来ない、授業料を払えないなど子どもにとって成長・発達を阻害する大きな要因となっています。「子どもの生きづらさ」に正面から向き合う子育て・教育・文化・スポーツを考えあひます。
9:00～12:00

19. 国民のための大学づくり
政府は「高大接続改革」「高等教育無償化」により、高校教育、大学入試、そして大学のあり方を劇的に変えようとしています。統制・競争・分断の政策を乗り越え、自由な学問と青年期の発達保障のあるべき姿を探ります。
13:00～16:00

22. 平和・憲法・人権・民族と教育
参議院選も終了し、さらに安倍自民党政権が長期化しています。予断を許さない「憲法改正議論」。これに対する実践と理論を学びあひましょう。先住権なき「アイヌ施策推進法」(2019年5月成立)を乗り越える運動、教育実践のあり方について、学習と討論を深めます。
13:00～16:00

23. 子ども・青年の発達と教育
子どもや青年の「発達援助」に携わる大人として、何が出来るかを共に考え語り合う分科会です。保育、小・中学校、高等学校、フリースクールなど、乳幼児期から青年期までの長いスパンで「人の発達」を見直し、子ども理解をより豊かなものにしていきましょう。
13:00～16:00

オンライン開催
11月11日(土)

1. 国語教育
ことばを「情報」として操作するだけ。文学作品も読まない、作文も書かない - 最近の流行のこんな授業は国語教育ではない - と怒っているみなさん！本当の意味で生きる糧となる国語教育を、参加者みなでつくりあげてみませんか？(レポートには教材の原文添付を)
13:00～17:00

2. 外国語教育
「グローバル人材」「コミュニケーション能力」「小学校での教科化」「大学入試改革」。現場を揺るがしているこうした教育政策のキーワードをもとに、真の外国語教育の目的を確かめながら、子どもの明るい未来につながる授業づくりを語り合います。
9:00～12:00

3. 社会科教育
平和で民主的な社会の形成に向け、社会科分科会を開催いたします。現代社会における分断は深刻であり、ウクライナ戦争やコロナ・ワクチン問題が一因と考えられます。私たちはこの問題に取り組み、社会の結びつきを深めるために分科会を開催します。社会科分科会は、民主主義・平和・人権保障の実現を目指す社会を築くための交流の場です。参加者の皆様を持つ知識や経験を活かし、新たな視点を得ることが出来る貴重な機会となります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。
9:00～16:00

共同開催
5. 理科教育
北海道の子どもが自然科学を豊かに学ぶことができるよう、授業づくり、実験教材やものづくり教材の開発、地域の自然の教材化について語り合ひましょう。子どもがいそいそと活動して学ぶことができる授業をつくりましょう。
9:00～16:00

6. 美術教育
美術教育は豊かな人間性を育むと共に、多様な価値観や、創造性を他者と共有し相互に認め合える教科です。学力のあり方が変わろうとしている中、授業や特別活動を通じ、子どもたちとの関わりについて語り合います。
9:00～12:00

8. 音楽教育
音楽は、人が豊かに生きていくために欠かすことのできない文化です。音楽の授業は、子どもと教師が教材を真ん中にして文化を育む場です。ささやかでも、普段着の実践を持ち寄り、語り、歌い、学び合ひましょう。授業等で録音・録画した物を持ち寄ります。
9:00～12:00

9. 技術・職業と進路指導
技術・職業教育では、近年、各教科の専門性を活かし、地域と連携した多くの実践や、進路指導、労働問題に関する実践を積み上げてきました。身近な問題などを中心に数多くの実践を持ち寄り、学び合ひましょう。
13:00～16:00

21. 環境・公害・エネルギーと教育
当分科会は、公害・環境問題、自然保護教育のあるべき姿を探ってきました。近年、気候変動に伴う災害の激化など問題は、多岐にわたりそれぞれ深刻さを深めています。さらに原発事故、放射性廃棄物問題などを含みエネルギー問題についても語り合ひましょう。
9:00～16:00

10. 家庭科教育
生命と生活の再生産にかかわる学習を担う家庭科は、子どもが直面する生活の困難にどのように迫り、何を提起していくべきなのでしょう。現在と将来にわたる生活の主人公を育てるため、大いに意見交換しましょう。
13:00～16:00

11. 保健・体育教育
子どもの健康・発達を語り合い、いかに子どもの命や体を守り育てていくのか交流しましょう。また、食・健康・運動文化の主人公に相応しい力をすべての子どもに保障する教育を考えましょう。学校保健の実践的課題や現状を、意見交換しましょう。
13:00～16:00

12. 総合学習・生活科
「何を学ぶか」「なぜ学ばせるか」という視点からの授業づくりが、総合学習・生活科の実践を豊かにしていく報告が近年増えていきます。「深い学び」を実現する生活・総合実践について語り合ひましょう。
13:00～16:00

分科会へのレポート参加について
日々の実践や子供の様子など、A4用紙1枚程度の簡単なレポートで構いません。是非レポートを書いてご参加ください。なお、レポート参加には事前のエントリーおよび原稿の提出が必要です。参加申込と同時にエントリーしてください。